

ERPビジネスプロセスエンジニアリングと ワンストップソリューション

戒田 充*
青野英樹*
篠崎 衛**

Business Process Engineering and One-stop Solution for Enterprise Resource Planning(ERP)

Makoto Kaida, Hideki Aono, Mamoru Shinozaki

要 旨

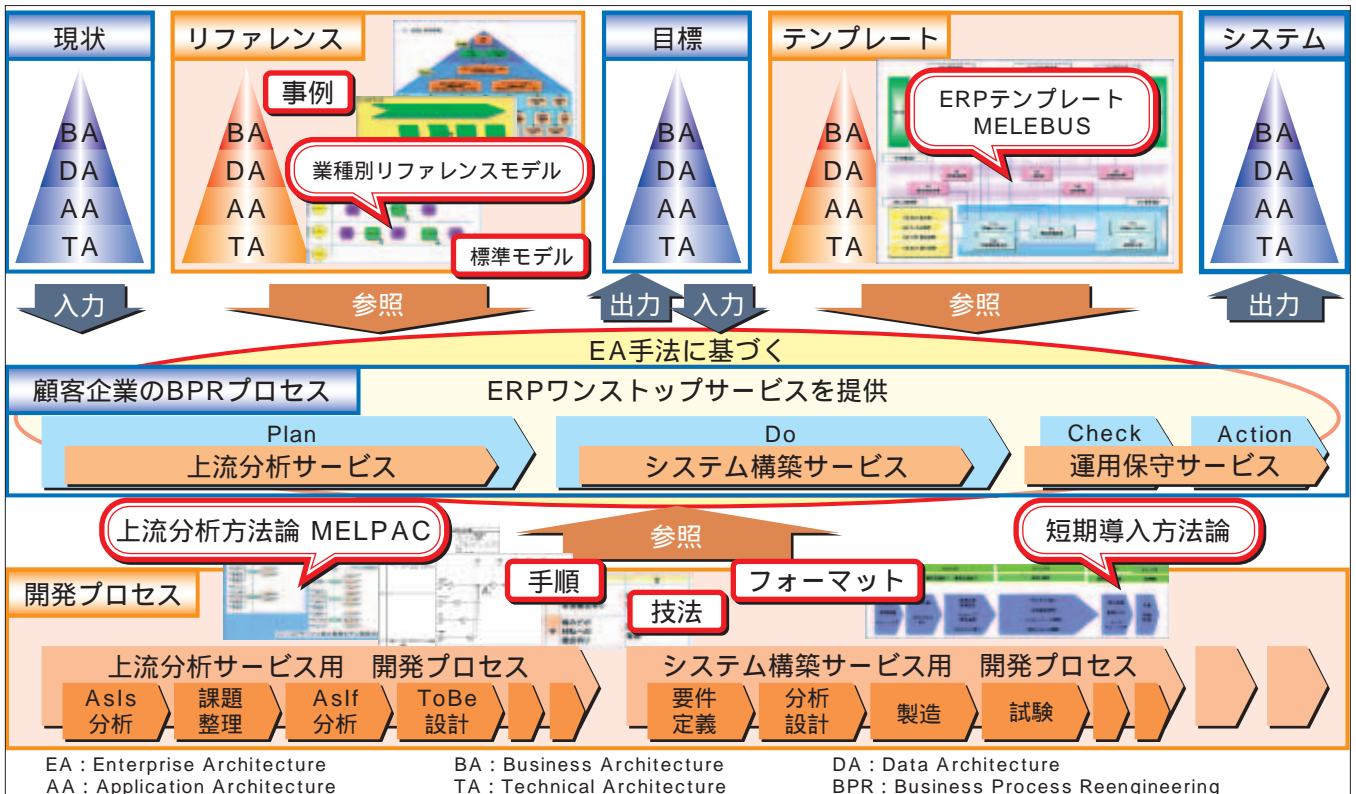
三菱電機SCM(Supply Chain Management)/ERPソリューションでは、ERPテンプレートMELEBUS(注1)を柱に、システム構築を中心としたサービスを提供し、技術・ノウハウを蓄積してきた。しかし、全体最適化意識の高まり、経営戦略に基づくIT戦略立案など、顧客意識の変化により、企業活動全体を継続的に改善するための“Plan-Do-Check-Action”を可能とするような経営基盤を構築するサービスが求められるようになってきている。このような顧客の要求にこたえていくには、上流分析・システム構築・運用保守などの一連の作業をワンストップサービスとして提供するような新たなERPビジネスモデルの確立が必要となる。

三菱電機インフォメーションシステムズ(株)(MDIS)では、上記ビジネスモデルの確立に向け、EA(Enterprise Archi-

itecture)のコンセプトを基に、3つのコンポーネント(開発プロセス、リファレンス、テンプレート)を定義した上で、EAに基づき必要な層(BA, DA, AA, TA)に対して必要なコンポーネントを開発することで、ワンストップサービスの実現に向けた技術開発及び蓄積を実施してきた。その結果、上流分析方法論MELPAC(注2)を確立し、上流分析サービスに対しては開発プロセス及び標準モデル(=リファレンス)を、システム構築サービスに対しては短期導入方法論(=開発プロセス)及びMELEBUS(=テンプレート)を整備し、ERPワンストップソリューションの提供を開始した。今後は、さらに、継続的な技術開発を実施するとともに、技術共有環境の整備を実施することで、各サービスの生産性向上・品質向上等にも効果を挙げていく所存である。

(注1) MELEBUSは、三菱電機(株)の登録商標である。

(注2) MELPACは、三菱電機(株)が商標出願中である。



ERPワンストップサービスへのEA手法の適用方法を示す概念図

上流分析、システム構築、運用保守など一連の作業をワンストップサービスとして提供するための新たな技術として、EAのコンセプトを活用した。EAフレームワークとして、開発プロセス、リファレンス、テンプレートの3つのコンポーネントを定義し、AsIsモデル(現状)ToBeモデル(目標)の設計に“リファレンス”, ToBeモデル(=システム)の実現に“テンプレート”, プロジェクト遂行のための方法論に“開発プロセス”を活用する。